

令和3年度 施設長会（2月） 会議資料

（川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会）

— 議 題 —

- 1 各プロジェクト委員会の進捗状況等について …資料1
- 2 施設長向け説明会について …資料2
「テーマ：介護職員処遇改善支援補助金について」（2/17（木）～3/4（金）オンデマンド配信）
- 3 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会について
(1) 課題別プロジェクト会議（災害・人材確保・介護報酬改定）について …資料3

(2) 第20回かながわ高齢者福祉研究大会大会について …資料4
- 4 役員改選について …資料5
- 5 令和4年度事業計画（案）について …資料6
- 6 その他
(1) 第63回大都市社会福祉協議会（川崎市大会）について …別添資料
(2) 関東ブロック老人福祉施設連絡協議会について
(3) 総合研修センターより …別添資料

各プロジェクト委員会の進捗状況について

1 災害プロジェクト委員会

(1) 委員会等実施状況

第4回 / 1月25日（火）10時～（オンライン）

※委員会内で、応援職員シミュレーション訓練の動画視聴を行う

(2) 報告・協議概要

①川崎市健康福祉局庶務課より

- ・「川崎市二次避難所（福祉避難所）開設・運営（基本）マニュアル」に関する意見書への回答
- ・上記マニュアルの改訂について

→ 施設長会（2/16）で全体に説明後、 ⇒ 2月末を目安に取りまとめ

②災害に関する研修会（12/2）の報告等について

- ・動画配信（12/16～1/16）、104回の再生回数

→ 講師の方より、限られた時間の中で事前に頂戴していた質問すべてに答えることが出来なかったため、Q&Aの回答あり。（2/15各施設あてメール済み）

③災害時等応援職員向けマニュアル（ひな形）の作成について ※詳細は別紙参照

- ・昨年度から引き続き災害プロジェクト委員、かつ施設が異動になっていない委員の施設（すえなが、生田まほろば）を想定し、実際に他施設職員が自施設に応援に来たことを想定して、受入れマニュアル（ひな形）を活用したシミュレーション訓練をオンラインで行う（動画視聴）（想定）

◎すえなが【福祉避難所（二次避難所）の運営に応援職員が来た】

◎生田まほろば【自施設の職員のフォローに応援職員が来た】

④施設間連携及び情報共有について（川崎市内施設での施設間連携）

- ・ヒアリング（他都市等）報告
- ・横浜市福祉事業経営者会の取組みについて報告

→ 川崎市内の施設間連携を進めていくため、他都市の協定や規約を参考に川崎市独自のものを
下記スケジュールのとおり次年度策定していく。

令和４年度 ※社協関係

日時	内容
4月中旬	老施協災害プロジェクト委員会 ・施設間連携についての案を確認
4/20（水）14時～	老施協施設長会 ・災害プロジェクト委員会の報告 ・施設間連携についての案を確認

⑤令和４年度取組みについて

- ・各委員より意見出しを行い、研修会等での参加者からのアンケートも参考に、
これまでの取組みを継続しつつ、より実践的な取組みを進めていく。
また、コロナ禍の中での活動になるため、オンラインや動画等も継続して活用していく。

【取組み（案）】

- ①災害に関する研修会等の開催について
- ②施設間連携及び情報共有について（川崎市内施設での施設間連携）
- ③「災害時等応援職員向けマニュアル（ひな形）」や「川崎市二次避難所（福祉避難所）開設・
運営（基本）マニュアル」を活用した訓練について
- ④その他

令和４年度第１回実行委員会： 改めて日程調整

災害時等応援職員向けマニュアル（ひな形）について

1 目的

災害時等には施設に対して、人的・物的資源などの支援・提供が行われるが、こうした応援に対して受入れる側の施設の準備が必ずしも十分とは言えない状況にある。

これまでの災害時でも外部機関からの応援を活かす体制が整っていないため応援要請を断ってしまう、あるいは応援職員に具体的な指示を出すことができない等、応援職員を有効活用できない事例が多く見受けられる。

こうした状況を踏まえ、本マニュアル（ひな形）は、災害時等に自施設へ駆けつけた応援職員に対してオリエンテーションとして伝える内容を整理したものである。

応援職員を迅速かつ的確に受け入れて情報共有や各種調整等を行いやすくするための一助になればと考えている。

2 背景

（東日本大震災の時に外部支援者を受け入れた施設のアンケートより抜粋）

○外部支援者の受入れにあたって課題となったことについて

→【回答数順】

- ・外部支援者に対してマニュアルがなかった
- ・外部支援者をコーディネートできる人材、体制がなかった
- ・外部支援者等を受け入れた場合の食事、宿泊場所の確保

○外部支援者にお願いした活動内容について

→【回答数順】

- ・福祉避難所が開設された場合の運営
- ・施設職員のフォロー（介助補助）
- ・様々なところから運搬、配布される物資の整理

3 活用例（撮影編集：川崎市老人福祉施設事業協会）

（1）生田まほろば【自施設の職員のフォローに応援職員が来た】

<https://youtu.be/y6PKRz81jmw>

（2）すえなが【福祉避難所（二次避難所）の運営に応援職員が来た】

<https://youtu.be/8YbXf7WI0GM>

(案)

災害時等応援職員向けマニュアル（ひな形）

社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 施設部会

老人福祉施設協議会 災害プロジェクト委員会

令和４年 ２月１６日 作成

※本マニュアルは、あくまでも雛形であるため、各施設の避難計画や BCP 等とあわせて加除訂正することを推奨します。

目 次

- 1 施設の概要と現状
- 2 福祉避難所（二次避難所）の開設状況
- 3 勤務時間・シフト
- 4 業務を行うにあたって
- 5 応援職員の生活インフラ等について
- 6 その他

1 施設の概要と現状

施設名	
理事長	
施設長	
職員構成	
平均介護度	
住所	
TEL	
FAX	
定員数	
建物構造	
設備	
運営母体	
メール	
URL	
FAX	
交通案内	

2 福祉避難所（二次避難所）の開設状況

開設年月日	
避難者数	
避難者の情報・ 状況（介護度等）	

3 勤務時間・シフト

日勤帯	時 分 ～ 時 分
夜勤帯	時 分 ～ 時 分

4 業務を行うにあたって

- (1) 業務（見守り・生活支援）について…1日の業務スケジュール、名札(目印)の着用等
- (2) 記録について…記録の作成方法、作成場所等
- (3) 物品購入について…避難所で必要な物品の購入方法等
- (4) 申し送りについて…日勤帯・夜勤帯間での申し送りの時間、場所等
- (5) 施設内の連絡について…内線電話の使用方法等
- (6) 避難者の服薬管理について…服薬者の情報、薬の管理方法等
- (7) 避難者の必要な介護と留意事項について…避難者の身体状況、支援方法等の情報
- (8) 避難者の夜間体調不良時の対応について…連絡の流れ等
- (9) 避難者の金銭管理について…必要により施設内金庫での保管等
- (10) 避難者のバイタル測定について…バイタル確認表への記入等
- (11) 避難者の外出について…外出時の手続き（外出届出の活用等）、タクシー連絡先等

5 応援職員の生活インフラ等について

(1) 下駄箱について

(2) トイレについて

(3) 入浴について … 利用時間、場所等

(4) 食事について … 時間、場所等

(5) 休憩・宿泊スペースについて … 場所、使用方法等

(6) 洗濯について … 場所、使用方法等

(7) 移動手段(外出)について … 公用車の使用、夜間外出時の手続き（外出届出の活用等）

(8) 喫煙について

(9) ゴミ出しについて

6 その他

(1) 施設見取り図

(2) 周辺地図

2 人材プロジェクト委員会

(1) 委員会等実施状況

第5回 / 1月17日(月) 午後2時～(オンラインとオフライン)

(2) 協議概要

①令和4年度 川崎市立高等学校インターンシップの生徒の受入について

川崎市教育委員会の事業として、川崎市立高等学校で、生徒の学習意欲の喚起と職業観・就労観の育成を図ることを目的として、夏季休業期間を利用した市内事業所でのインターンシップを次の通り実施予定。

対象生徒：川崎市立幸高等学校 ビジネス教養科1年生 120名程度

受入時期：令和4年7月～8月の夏季休業中のうち連続した平日における

3日～5日間程度の範囲を1回の期間とする。期間中、複数回の実施可能。(応相談)

その他：インターンシップ保険は、学校のとりまとめにより対象生徒が加入。

<参加希望施設数>

・ 老人福祉施設	12 施設
・ 障害者福祉施設	13 施設
・ 保育園	28 施設
計	53 施設

②ハローワーク「福祉の仕事」説明会

<打ち合わせ>

日時：1月19日（水）9：00～10：00（ZOOM）

対象：古敷谷委員長、伊藤施設長、小林施設長、神田施設長、山下所長

<説明会の概要>

日時：1月28日（金）13時30分～15時

会場：ハローワーク川崎 6階大会議室

環境：ZOOMを使用 または 会場

来場者定員：25名

担当委員：伊藤施設長（しゃんぐりら）、神田施設長（生田広場）

申込施設：しゃんぐりら…田嶋副施設長、岡田職員（介護士）

新緑の郷…小林施設長、ラマ ゴレ キラン職員（介護スタッフ）

<説明会の内容>

①川崎市社会福祉協議会（老施協）について、福祉の仕事・資格の案内（5分）

②施設でのケアの実際（25分） ※神田施設長（生田広場）

③福祉の現場からの声（35分）

→参加法人施設にZOOMで参加してもらい、会場から投げかける質問にご回答いただいた。

④市内社会福祉施設と参加施設の求人情報の提供（5分） ※人材バンク

⑤川崎市介護人材マッチング事業について（10分） ※株式会社シグマスタッフ

<当日の様子>



③外国人介護人材受け入れに係る説明会（パネルディスカッション）の実施について

各施設を対象に行ったアンケート調査結果を基に、説明会（パネルディスカッション）の実施を検討する。

・対象（案）

今後、外国人人材の受け入れを考えている施設

・内容（案）

司会がパネリスト 3 名程度に下記のような内容の話を聞くパネルディスカッション方式。

①外国人介護人材受け入れに係る制度概要説明

②川崎市内の施設で就労している外国人からの話

③外国人介護人材を受け入れる際の準備（住まい、最初に教えたこと等）

④外国人介護人材への手当

⑤その他（文化・慣習の違い等）

・開催方法（案）

オンデマンド配信（パネルディスカッションを事前録画し、YouTube で配信）

・スケジュール（案）

2 月下旬	パネリスト募集
3 月上旬～3 月中旬	パネルディスカッション撮影
3 月下旬～4 月	オンデマンド配信開始

＜参考＞平成 30 年度 人材プロジェクト委員会主催

○外国人介護技能実習生制度監理団体情報説明会（4/18）

○介護・医療法人のための外国人介護士採用・活用説明会（10/17）※施設長会内で実施

第 6 回実行委員会：3 月 16 日（水）午後 2 時～ 会場：エポック中原 6 階研修室・オンライン

老人福祉施設協議会 人材プロジェクト委員会 外国人介護人材に関するアンケート 集計結果

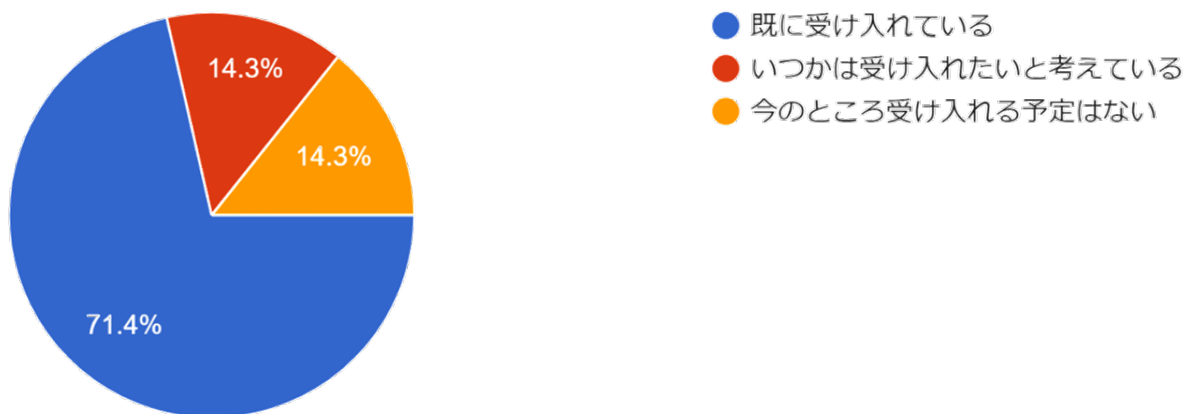
（問 1）外国人介護人材の受け入れについて

現在外国人介護人材を受け入れていますか。または、今後受け入れる予定はありますか。

- | | |
|--------------------|-----|
| ・ 既に受け入れている | 5 件 |
| ・ いつかは受け入れたいと考えている | 1 件 |
| ・ 今のところ受け入れる予定がない | 1 件 |

外国人介護人材の受け入れについて

7 件の回答



（問 2）外国人介護人材をテーマとした情報収集の機会について

外国人介護人材に関して、情報交換会や説明会があったら参加したいと思いますか。

- | | |
|-------------------|-----|
| ・ 参加したい | 2 件 |
| ・ 今のところ参加する必要性はない | 5 件 |

※具体的に、情報交換したい内容がございましたら、ご記入ください。

・ 外国人の資格取得に向けた法人独自の取組

特定 1 号などは、管理会社によって考え方や支援方法、料金等も違うと思うので色々な管理会社を比較してみたい。（管理会社からではなく実際使っている施設から管理会社に満足しているか等、本音の所を聞いてみたい）

・ 技能実習から特定技能へ移行する際の注意点など

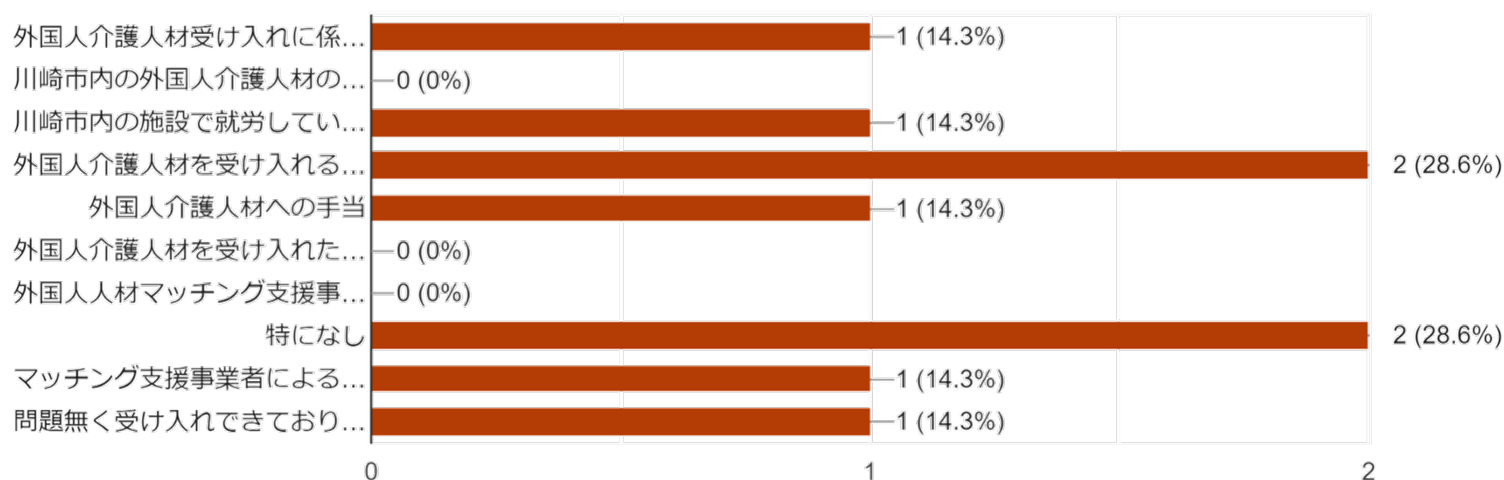
(問 3) 外国人介護人材の受け入れにあたり知りたい情報

外国人介護人材の受け入れを検討するにあたり、事前に聞いておきたい内容はありますか。当てはまる項目に☑またはご記入をお願いいたします。 ※複数回答可

・ 外国人介護人材受け入れに係る制度概要説明	1 件
・ 川崎市内の外国人介護人材の受入れ事例 (受け入れてみてよかったこと、受け入れてからの課題等)	0 件
・ 川崎市内の施設で就労している外国人からの話 (就労する前に不安だったこと、就労してみたのよかったこと・苦労していること等)	1 件
・ 外国人介護人材を受け入れる際の準備 (住まい、最初に教えたこと等)	2 件
・ 外国人介護人材への手当	1 件
・ 外国人介護人材を受け入れた後の利用者の反応・変化	0 件
・ 外国人人材マッチング支援事業者について	0 件
・ その他 (問題なく受け入れできており、特に必要性を感じていない)	1 件

外国人介護人材の受け入れにあたり知りたい情報

7 件の回答



(問 4) その他、外国人介護人材に関すること

その他、説明会や情報交換会以外に必要なと思う取り組み等ございましたら、ご記入ください。

- ・ 外国人介護人材受入時におけるコスト把握、リスクマネジメント（不法就労防止）

社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会 施設長向け説明会「介護職員処遇改善支援補助金について」開催要綱

1 目 的

「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」（令和3年11月19日閣議決定）に基づき、介護職員を対象に、「賃上げ効果が継続される取組を行うことを前提として、収入を3%程度（月額9,000円）引き上げるための措置を、令和4年2月から前倒しで実施する」とされていることから、制度概要や配分方法等を知りたいとのご意見が多く寄せられています。

つきましては、社会福祉法人の会計税務を専門的に行われているコンパッソ税理士法人 横浜青葉事務所 沼辺 昂祐 様を講師としてお呼びし、標記説明会を開催いたします。

2 主 催

社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会

3 協 力

川崎市老人福祉施設事業協会

4 配信期間

令和4年2月17日（木）～令和4年3月4日（金）

5 方 法

オンライン（オンデマンド配信）

6 対 象

市内老人福祉施設 施設長

7 内 容

講義テーマ：「介護職員処遇改善支援補助金について」

①補助金の概要や要件（ポイント）と注意点

②今までの処遇改善加算との違い

③事業所内での補助金の配分方法 等

講 師：コンパッソ税理士法人 横浜青葉事務所

沼辺 昂祐 氏

8 問合せ先

社会福祉法人川崎社会福祉協議会 福祉部 施設・団体事業推進課

〒211-0053 中原区上小田中6-22-5 川崎市総合福祉センター6階

電 話：044（739）8717 FAX：044（739）8737

メール：shisetsu-dantai@cs-w-kawasaki.or.jp

神奈川県社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会
各課題別プロジェクト会議の進捗状況報告について

1 災害対応プロジェクト会議

(1) メンバー

牧田施設長（多摩川の里）、平本施設長（すえなが）、見原施設長（ビオラ川崎）

(2) 会議等

日 時：2月9日（水）午前 10 時～

会 場：オンライン（ZOOM）

内 容：研修会アンケート結果について

今後の取り組みについて

2 人材確保対応プロジェクト会議

(1) メンバー

古敷谷施設長（大師の里）、岩壁副施設長（等々力） ※磯野会長担当プロジェクト

(2) 会議等

＜セミナー＞

日 時：3月10日（木）午後2時30分～

会 場：ホテル横浜キャメロットジャパン

内 容：・採用とマーケティング手法について

・施設の取組の振り返り

・施設の魅力発見と発信

・ターゲットの絞り込みと PR

・ホームページの活用

・求人情報の掲載におけるポイント

3 介護報酬改定対応プロジェクト会議

(1) メンバー

清水施設長（夢見ヶ崎）、白井施設長（富士見プラザ）

(2) 会議等

＜第3回＞

日 時：2月18日（金）午前10時～

会 場：神奈川県社会福祉センター

内 容：

令和 3 年度第 2 回老人福祉施設協議会 研修会

明日から始める求人改革(仮)

(人材確保対応プロジェクト会議)

1 目的

神奈川県老人福祉施設協議会人材確保対応プロジェクト会議では、無資格・未経験者に焦点を当て県域・横浜市・川崎市・相模原市からなる 4 ブロックの人材確保・育成状況、対策・施策について情報共有を行いながら、個別の法人単独では実施が難しい講演会や就職相談会など、全県協働により推進可能な事業を検討することを目的として協議を行っている。

令和 2 年度には、プロジェクトメンバーの施設における無資格・未経験で入職した職員向けにアンケートを実施し、介護の仕事に就くきっかけや、入職前に感じていた不安などについて貴重な声を寄せて頂いた。

今回のアンケート結果より、不安の軽減や介護の仕事が応募の選択肢となる上では、求職者が知りたい情報が施設から発信されることが重要であり、採用活動について、プロの手法を学び・施設の取り組みを見直す機会となることを目的として研修会を開催する。

2 対象

老人福祉施設協議会 施設長

3 講師（予定）

株式会社スターコンサルティンググループ 代表取締役 糠谷 和弘 氏

4 日時・場所

令和 4 年 3 月 10 日 14:30~16:30（休憩あり）、総会と同日に開催
@ホテル横浜キャメロットジャパン

5 開催方法

集合形式での実施を検討

6 募集人数

80 名程度

7 研修内容

- ・採用とマーケティング手法について
- ・施設の取組の振り返り
- ・施設の魅力発見と発信
- ・ターゲットの絞り込みと PR
- ・ホームページの活用
- ・求人情報の掲載におけるポイント

ネット活用の難しい法人もあるため、ターゲットに応じて既存のハローワークやチラシなどのアナログ媒体での手法なども盛り込む。採用のチャネルづくり＋定着の初期段階の手法

介護事業

明日から始める求人改革

～採用&定着成功事例&ポイント公開セミナー～

少子高齢化により年々、人材採用が難しくなっています。特に神奈川県は、他県と比較しても有効求人倍率の高いエリアです。そこで本講座では、皆様の事業者の求人の取り組みを劇的に変化させるための手法を学びます。

日時 令和4年3月10日 14:30～16:30

場所 ホテル横浜キャメロットジャパン

本講座のポイント

- ☆あなたの施設が採用できない理由
- ☆採用成功のための前提条件
- ☆採用マーケティング3原則
- ☆人材別「採用チャネル」の作り方
- ☆早期離職を防止するポイント
- ☆採用にも効果のある給与制度・キャリアパス制度の作り方
- ☆明日からやって欲しいこと



講師紹介

糠谷和弘（ぬかやかずひろ） 株式会社スターコンサルティンググループ 代表取締役

東京都出身。AB型。介護保険が施行された2000年、(株)船井総合研究所で介護サービスに特化した部署を立ち上げ、統括責任者として全国の事業所をサポート。独立後は、介護事業に特化したスペシャリスト集団としてコンサルティング会社を経営しながら、自らも全国各地で講演や経営指導を行っている。コンサルティング実績500社以上。講演実績700回以上。「ガイアの夜明け」などのテレビ出演のほか、高齢者住宅新聞、月間老健、おはよう21など連載、執筆多数。

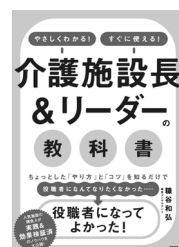
<著書>

『ディズニー流！みんなを幸せにする“最高のスタッフ”の育て方』

『あの介護施設には、なぜ人が集まるのか』

『あの介護施設はなぜ、地域一番になったのか！！』

『介護施設長＆リーダーの教科書』（いずれもPHP出版）ほか



各 位

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会
老人福祉施設協議会
会 長 鈴木 啓 正
第 20 回かながわ高齢者福祉研究大会実行委員会
委 員 長 坂 本 陽 二 郎

**第 20 回かながわ高齢者福祉研究大会
研究発表並びに介護技術発表募集締切日の延長について**

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、現在募集を行っております、第 20 回かながわ高齢者福祉研究大会研究発表・介護技術発表につきまして、次の通り募集締切日を延長することといたしました。

引き続き、県内の高齢者福祉施設・介護保険事業所等の皆様からのご応募をお待ちしております。

1. 名 称 第 20 回かながわ高齢者福祉研究大会
2. 日 時 令和 4 年 6 月 30 日（木）から 7 月 31 日（日）まで
3. 開催方法 オンライン
4. 送付物 (1) 研究発表募集要綱
(2) 介護技術発表募集要綱
5. 募集期間・申込み方法
募集期間 : 令和 4 年 1 月 20 日（木）～2 月 10 日（木）

⇒締切延長 2 月 28 日（月）まで

研究発表 : 申込専用 web ページより申込み

介護技術発表: 所定の参加申込書によりファクスにて申込み

※詳細は募集要綱をご確認ください。

6. その他

- (1) 本案内は会員施設を中心に配布しておりますが、貴法人・貴施設内の高齢者福祉施設・介護保険事業所等にもご周知くださいますようお願い申し上げます。
- (2) 各種要綱は、ホームページからもダウンロードができます。また、大会に関する情報を随時掲載いたしますのでご活用ください。

【かながわ高齢者福祉研究大会ホームページ】<http://www.kanagawafukushitaikai.jp>

かながわ 高齢 大会 検索



事務担当は

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会
福祉サービス推進部 加藤
TEL 045-534-5662 FAX 045-312-6302
MAIL sisetu@knsyk.jp

社会福祉法人川崎市社会福祉協議会
各部会正副部会長（施設部会各協議会正副会長含む）の任期について
※施設部会員（各協議会正副会長）には 1/18（火）説明済み

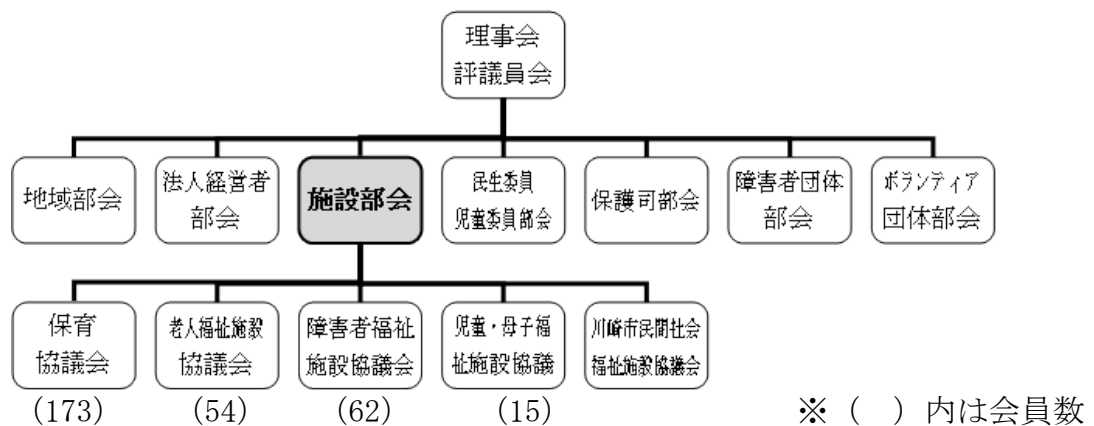
1 内容

川崎市社協の各部会正副部会長（施設部会各協議会正副会長含む）の任期については、社会福祉法人川崎市社会福祉協議会部会規程第3条第4項により、2年となっております。

ただし、市・区社協法人合併等もあり、各部会正副部会長（施設部会各協議会正副会長含む）の任期と市社協理事の改選年度が異なっておりました。

つきましては、施設部会を含め7つの部会の任期を本会理事の改選年度と揃えるため、令和4年度の役員改選における任期に限り、2年から1年に短縮することとする。

（参考）社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 施設部会 組織図



（参考）社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 部会規程（抜粋）
（正副部会長）

第3条 各部会に部会長1名、副部会長2名以内をおく。

2 部会長は会務を統括し、副部会長は、部会長に事故あるとき代行する。

3 正副部会長の選任は、各部会において互選とする。

4 正副部会長の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。補欠により就任した場合は、前任者の残任期間とする。

（参考）社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 理事等の任期について

種類／年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
理事		←→	←→	←→	←→
各部会正副部会長 (各協議会正副会長)	←→	←→	←→	←→	←→

社会福祉法人川崎市社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会運営要領

(趣 旨)

第1条 この要領は、川崎市社会福祉協議会施設部会運営要綱に基づき設置される川崎市社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会（以下「本協議会」という。）の運営について必要な事項を定める。

(構 成)

第2条 本協議会は社会福祉法人川崎市社会福祉協議会会員である老人福祉施設で構成する。

(役 員)

第3条 本協議会の円滑な運営を図るため、会長1名及び副会長2名を置く。

2 会長は会務を統括し、会長に事故あるときは、副会長がその職務を代理する。

(役員を選任)

第4条 会長の選任については、あらかじめ立候補期間を設け、立候補者の中から、施設長会において選任する。選任の方法については、施設長会においてその都度協議のうえ定める。

2 立候補がなかった場合は、施設長会において互選により選任する。

3 副会長は、会長が候補者を選出し、施設長会において選任する。

(会 議)

第5条 本協議会会長は必要に応じ別表に定める会議を招集し、その議長となる。ただし、施設長会の議長は、その都度選任する。

(委員会の設置)

第6条 本協議会は必要に応じ委員会を設置することができる。

(その他)

第7条 この要領を変更する場合は、施設長会において決定するものとする。

2 この要領に定めるもののほか、本協議会の運営に必要な事項は、施設長会で協議のうえ定める。

附 則

この要領は平成23年4月1日から施行する。

附 則

この改定要領は平成24年11月1日から施行する。

附 則

この改定要領は令和2年4月1日から施行する。

(別 表)

会議名	構成
施設長会（総会含む）	本協議会会員施設の施設長
正副会長会議	正副会長

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会会長の選任方法

《事務局》

社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 福祉部 施設・団体事業推進課

《選任方法》

- 1 会長の選任については次の方法から順次行い、令和4年度第1回施設長会（4月20日（水）開催予定）において選任する。
 - (1) 立候補
 - (2) 会員施設による推薦
- 2 立候補については次のとおり扱うこととする。
 - (1) 会長に立候補する者は、次の期間内に所定の用紙に立候補理由を記し、事務局に提出する。
〔立候補期間：2月21日（月）から3月9日（水）まで〕
 - (2) 立候補期間終了後、事務局から各会員施設へ立候補状況を報告し、立候補者の有無により次のとおり対応を行う。
 - ①立候補者がいる場合
立候補者がいる場合は、第1回施設長会において立候補者による所信表明を行い、信任を諮る。なお、立候補者が複数いる場合には下記の投票方法により選任を行う。
 - ②立候補者がいない場合
立候補者がいない場合は、次項3の推薦による選任を行う。
- 3 推薦については次のとおり扱うこととする。
 - (1) 上記の立候補期間内に会長への立候補がない場合には、各会員施設へ会長候補者の推薦依頼を行い、次の期間内に推薦を受け付ける。
〔推薦期間：3月17日（木）から3月25日（金）まで〕
 - (2) 推薦期間終了後、事務局から各会員施設へ推薦状況を報告する。なお、推薦のあった候補者には、現行の役員又は事務局より事前の連絡を行う。
 - (3) 推薦のあった候補者については、第1回施設長会において信任を諮る。なお、候補者が複数いる場合には下記の投票方法により選任を行う。

《投票方法》

- (1) 直接無記名投票とする。
- (2) 上位1位の票数を得、かつその得票数が出席施設の過半数を超えた者を当選とする。
- (3) 投票の結果、上位1位の者が出席施設の過半数を超える票を得なかった場合は、第1回目の投票の上位2名を候補者とし、第2回目の投票を行い、上位1位の票を得た者を当選とする。
- (4) 投票にあたり、次のものは無効票とする。
無記入、判読不可、候補者以外の氏名の記載、複数の候補者氏名の記載

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会 役員選任スケジュール（案）

	選任に係る事項	会議	（参考）令和元年度スケジュール
2月	会長選任方法の確認	施設長会（2月16日（水））	会長選任方法の確認（2月19日（水）施設長会）
	会長立候補者の募集案内 《立候補期間》 2月21日（月）から3月9日（水）まで		会長立候補者の募集案内 《立候補期間》 3月2日（月）から3月13日（金）まで
3月	立候補状況を各施設へ報告（3月14日（月）頃）		立候補状況を各施設へ報告（3月16日（月））
	会長候補者の推薦依頼 ※立候補者がいない場合 《推薦期間》 3月17日（木）から3月25日（金）まで		会長候補者の推薦依頼 ※立候補者がいない場合 《推薦期間》 3月18日（水）から3月25日（水）まで
	推薦状況を各施設へ報告（3月30日（水）頃）		推薦状況を各施設へ報告（3月30日（月））
4月		正副会長等会議（4月7日） ※現行役員	正副会長等会議（4月9日） ※現行役員
	会長の選任	施設長会（4月20日（水））	施設長会（4月15日（水））
5月	新役員体制状況を各施設へ報告（5月30日（月））		新役員体制状況を各施設へ報告（5月29日（火））
6月	副会長の選任	施設長会（6月15日（水）） ※新役員	施設長会（6月17日（水））

社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会
会長立候補届出用紙

提出日 令和 年 月 日

ふりがな	
候補者氏名	⑩
施 設 名	
立候補理由（抱負）	
受 理 日	令和 年 月 日 ⑩

【立候補期間】令和4年2月21日（月）から3月9日（水）まで

【提出先】社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 福祉部 施設・団体事業推進課

〒211-0053 川崎市中区上小田中6-22-5

TEL：044-739-8717 FAX：044-739-8737

社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会
会長候補者推薦書

提出日 令和 年 月 日

《 推薦人 》

氏 名

施設名

連絡先

老人福祉施設協議会の会長として次の者を推薦いたします。

《 推薦者 》

氏 名	
施設名	
連絡先	
推薦理由	

【推薦期間】 令和4年3月17日（木）から3月25日（金）まで

【提出先】 社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 福祉部 施設・団体事業推進課

〒211-0053 川崎市中原区上小田中6-22-5

TEL 044-739-8717 FAX 044-739-8737

令和 4 年度 社会福祉法人川崎市社会福祉協議会施設部会 老人福祉施設協議会 事業計画（案）

介護保険制度が創設 20 年を迎え、2024 年度には介護報酬と診療報酬の同時改定が見込まれ、2025 年度には団塊の世代が 75 歳以上となる年と言われており、老人福祉施設を取り巻く環境の変化に応じた対応が求められる。

また、新型コロナウイルス感染症への対応が継続する中でも、本協議会では、各会員施設において質の高い、安定した施設運営が進められるよう、施設職員の資質向上のための研修や施設間での情報共有のための取組みをオンライン等も活用しながら実施していきます。

また、市内各種福祉関係団体から構成される社会福祉協議会の特性を活かし、各会員施設並びに行政、関係機関との連携・協力をこれまで以上に図りながら、地域包括ケアシステムの推進、介護人材の確保・育成・定着、災害時の対応等、地域に根差した取組の検討に努めるとともに、引き続き、川崎市老人福祉施設事業協会との協議を持ちながら、会員施設の運営に有意義となる必要な取組の実施及び検討、事業の整理を進めていきます。

1 正副会長等会議（随時）

協議会の事業計画及び実施について協議する。

2 施設長会（川崎市老人福祉施設事業協会施設長会と合同開催）

- (1) 事業の推進及び連絡調整を行う。
- (2) 施設運営に係る各種情報交換を行う。
- (3) その他必要な事項について協議する。

※原則、偶数月第 3 水曜日開催予定（8 月のみ第 4 水曜日）

3 調査・研究事業

(1) 災害プロジェクト委員会の開催

発災時の対応や平時からの備え、発災後の事業継続等に関する協議及び取組を行う。

(2) 人材プロジェクト委員会の開催

介護人材の確保及び育成、発掘に関する協議及び取組を行う。

(3) 次期介護報酬改定を見据えた取組の実施

①他機関との連携による次期介護報酬改定を見据えた検討及び取組の実施

②令和 3 年度決算に基づく経常増減差額比率（収支差額率）調査の実施

(4) 市内老人福祉施設の人材確保等に関する調査の検討及び取組の実施

(5) 川崎市老人福祉施設事業協会実施事業への協力

4 研修・交流事業

(1) 老人福祉施設関係者等研修会を開催する。

災害や人材に関する研修会の他、必要なテーマに基づく研修を実施

(2) かながわ高齢者福祉研究大会をはじめとする神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会、関東ブロック老人福祉施設連絡協議会、首都圏高齢者福祉協議会、大都市社会福祉施設協議会、全国社会福祉協議会の各種大会、研修会等に参加及び協力を行う。

5 連携・調整事業

- (1) 会員間の情報共有、連携・調整の強化を図る。
- (2) 川崎市老人福祉施設事業協会との連携を図る。
- (3) 川崎市福祉人材バンク、総合研修センター等の人材育成関連部署との連携を図る。
- (4) 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会、関東ブロック老人福祉施設連絡協議会、首都圏高齢者福祉協議会、大都市社会福祉施設協議会、全国社会福祉協議会との連携を図る。
- (5) その他、関係機関、団体との連携・調整を図る。

6 その他

- (1) 川崎市老人福祉施設事業協会との協議の上、必要に応じた事業調整を行う。
- (2) その他、必要な事業を行う。

【令和4年度 事業予定】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
施設長会	20日		15日		24日		19日		21日		15日	
災害P												
人材P		18日		20日		21日		16日		18日		15日

※施設長会は原則、偶数月第3水曜日開催予定（8月のみ第4水曜日）

※人材プロジェクト委員会は原則、奇数月第3水曜日開催予定